

### Ⅲ 資 料

●留学生センター沿革	160
●平成24年度 留学生センター教職員	164
●歴代留学生センター長	165
●留学生センター全学委員会委員	166
●平成24年度 授業担当および学位論文審査	169
●留学生センター主催研究会記録	171

## 留学生センター沿革

	日本語・日本文化教育部門	教育交流部門／留学生相談室	短期留学部門
1977	語学センターが非常勤講師による外国人留学生のための日本語教育を開始		
1978	専任講師着任, 「全学向け日本語講座」授業開始		
1979	語学センターと教養外国語系列が総合され, 総合言語センター発足 総合言語センターの1部門として「日本語学科」設置 「日本語研修コース」開講		
1981	「日本語・日本文化研修コース」開講		
1984	教養部在籍留学生対象一般教育外国語科目「日本語」開講		
1991	総合言語センターが言語文化部に改組。それに伴い一般教育外国語科目「日本語」は言語文化科目「日本語」として開講される		
1993. 4	学内共同教育研究施設として, 「留学生センター」設置 (「日本語・日本文化教育部門」・「指導相談部門」の2部門体制)		
	留学生センターとして, これまで通り「全学向け日本語講座」「日本語研修コース」「日本語・日本文化研修コース」言語文化科目「日本語」を開講		
1994. 4	留学生センター研修生規定が定められ, (1994. 2), 研修生の受け入れ開始		
5			「短期留学調査検討委員会」設置
1995. 3			「短期留学受け入れ実施に関する検討委員会」設置
10			「短期留学受け入れ実施に関する検討委員会」最終報告書の学内合意を得て, 「短期交流留学受け入れ実施委員会」発足。「名古屋大学短期留学受け入れプログラム (NUPACE)」の基本構成を構築
12			短期留学担当助手採用 (石川)
1996. 2			短期留学生受け入れ開始
4	短期留学生対象日本語授業開始	独立した「留学生相談室」確保	「短期留学部門」発足 (留学生センター3部門体制となる)
8			短期留学担当教授着任 (野水)
10			「短期留学受け入れプログラム (NUPACE)」本格稼働。短期留学担当助教授採用 (太田) 新スタッフ3名揃う
11		「指導相談部門」から「教育交流部門」へ名称変更	

	日本語・日本文化教育部門	日本語教育メディア・システム開発部門	教育交流部門／留学生相談室	短期留学部門
1997. 5				「短期交流留学生受入れ実施委員会」から「短期交換留学生実施委員会」へ変更
10			留学インフォメーション室を留学生センター分室に開設	
1998. 1			「留学生パートナーシッププログラム」開始	
	インターネットによるWebCMJのオンライン開始			
12			「地球家族プログラム」開始	
1999. 4		「日本語教育メディア・システム開発部門」発足（留学生センター4部門体制となる）		
8		担当助教授着任（ハリソン）		
2000. 3				実務コーディネーター担当助教授転出（太田）
4		二人目の担当助教授着任（大野）		
6				担当助手採用（白戸）
2001. 3	留学生センター新棟完成			
4			「留学インフォメーション室」を「海外留学室」に改名	
12				担当助手退任（白戸）
2002. 4				担当助手採用（許斐）
8			留学生相談主事の所属を留学生センターに変更	
2003. 3	教授1名退任（藤原）			
4	講師1名採用（李）			担当助手配置換え（許斐）
5				担当助手採用（筆内）
2004. 1			「名古屋大学留学生相談室」新設、留学生相談主事が室長を兼任（松浦）	
2		助教授1名転任（ハリソン）		
3	助教授1名退任（神田）			
4		WebCMJ多言語版開発 オンライン読解・作文コース開始		
6			教授1名退任（三宅）	
7			教授1名昇任（松浦） 助教授1名採用（堀江）	
11		助教授1名採用（石崎）		
2005. 3		助教授1名転任（大野）		
4	日本語プログラムの再編成 1) 全学日本語プログラム（集中コース、標準コース、漢字コース、入門講義、オンライン日本語コース） 2) 特別日本語プログラム（初級日本語特別プログラム、上級日本語特別プログラム、学部留学生向け日本語授業、日韓理工系学部留学生プログラム）	教授1名日本語・日本文化教育部門から配置換え（村上） オンライン漢字コース開始		
5	留学生センターホームページ改訂			
6	講師1名採用（佐藤）			
9			「名古屋大学留学生相談室」講師1名着任（高木）	

	日本語・日本文化教育部門	日本語教育メディア・システム開発部門	アドバイジング・カウンセリング部門	短期留学部門
2006. 3	教授 1 名転任 (尾崎)		「名古屋大学留学生相談室」ホームページ公開	
4	助教授 1 名採用 (衣川)	現代日本語コース中級聴解 CD-ROM 開発		
5	教授 1 名昇任 (昶山)			
10		現代日本語コース中級聴解 Web 開発		NUPACE 設立10周年記念シンポジウム・同窓会開催
2007. 2		現代日本語コース中級聴解 Web 課金開始		
4				准教授 1 名配置換え (岩城)
6	准教授 1 名昇任 (李)			
7				助教 1 名退任 (筆内)
9				助教 1 名着任 (山田)
2008. 3		JEMS オンライン日本語教育ポータルサイト開発		
2009. 2				助教 1 名転任 (山田)
3			准教授 1 名転任 (堀江)	
4			准教授 1 名着任 (岩城)	
10			特任准教授1名着任 (坂野：国際交流協推進本部)	助教 1 名配置換え (北山：国際交流協推進本部に移動)
11	特任准教授 1 名着任 (初鹿野：国際交流協推進本部)			特任講師 1 名着任 (北山：国際交流協推進本部)
12				准教授 1 名昇任 (石川)
2010. 2	特任准教授 1 名着任 (徳弘：国際交流協推進本部)			
2011. 3		TNe とよた日本語 e ラーニング会話編 (市役所, 病院, 学校) 完成 TNe とよた日本語 e ラーニング文字編 (ひらがな, カタカナ, 履歴書) 完成		
4			「教育交流部門/名古屋大学留学生相談室」を「アドバイジング・カウンセリング部門」に変更 特任准教授1名配置換え (高木：留学生センターへ)	
5			特任准教授 (代替教員) 1 名着任 (田所)	
10				NUPACE 設立15周年シンポジウム・同窓会開催
2012. 3		WebCMJ 多言語版完成 (17 言語) 「名古屋大学日本語コース中級 I & II」オンライン及びデジタル版の開発 TNe とよた日本語 e ラーニング会話編5カ国版完成 TNe とよた日本語 e ラーニング文字編5カ国版完成		
10			特任助教1名着任 (星野：国際交流協推進本部)	
2013. 3			教授1名定年退職 (松浦)	特任講師1名転任 (北山)

留学生センター在籍者数

年度	日本語・日本文化研修生（※）	日本語研修生		研究生	計
		前期	後期		
平成10年度	18	前期	33		
		後期	30		
平成11年度	20	前期	22		
		後期	37		
平成12年度	16	前期	36		
		後期	42		
平成13年度	20	前期	26		
		後期	50		
平成14年度	17	前期	26（8）	3	100 （31）
		後期	54（23）		
平成15年度	20	前期	35（3）		
		後期	41（22）		
平成16年度	21	前期	34（11）		97 （36）
		後期	42（25）		
平成17年度	21	前期	29	2	72
		後期	20		
平成18年度	19	前期	28	1	68
		後期	20		
平成19年度	18	前期	19		55
		後期	18		
平成20年度	20	前期	23	1	60
		後期	16		
平成21年度	10	前期	25	1	56
		後期	20		
平成22年度	9	前期	28	1	52
		後期	14		
平成23年度	5	前期	22		39
		後期	12		
平成24年度	19	前期	29		76
		後期	28		

※日本語・日本文化研修生については、5月現在の在籍者数を示す  
 ※（ ）内は他部局に所属し日本語研修を受講した人数（内数）

短期交換留学生数

年 度	人数
平成7年度	23
〃 8 〃	31
〃 9 〃	47
〃 10 〃	41
〃 11 〃	53
〃 12 〃	45
〃 13 〃	51
〃 14 〃	55
〃 15 〃	56
〃 16 〃	67
〃 17 〃	60
〃 18 〃	前期 53
	後期 58
〃 19 〃	前期 68
	後期 58
〃 20 〃	前期 67
	後期 64
〃 21 〃	前期 65
	後期 76
〃 22 〃	前期 77
	後期 73
〃 23 〃	前期 58
	後期 90
〃 24 〃	前期 99
	後期 89

## 平成24年度 留学生センター教職員

センター長 町田 健  
教授

### 日本語・日本文化教育部門

教授 鹿島 央  
教授 羽山 洋介  
准教授 浮葉 正親  
准教授 衣川 隆生  
准教授 李 澤熊  
講師 佐藤 弘毅  
特任准教授 初鹿野 阿れ  
(国際交流協力推進本部 G30)  
特任准教授 徳弘 康代  
(国際交流協力推進本部 G30)

### 日本語メディアシステム開発部門

教授 村上 京子  
准教授 石崎 俊子

### アドバイジング・カウンセリング部門

教授 松浦 まち子  
(留学生相談主事)  
准教授 田中 京子  
准教授 岩城 奈巳  
特任准教授 高木 ひとみ  
(育児休業中)  
特任准教授 田所 真生子  
(特任准教授, 育児休業中の代替  
教員2011年5月～2013年3月)  
特任准教授 坂野 尚美  
(国際交流協力推進本部 G30)  
助教 星野 晶成  
(国際交流協力推進本部  
2012年10月～)  
事務補佐員 白石 慶子  
事務補佐員 柴垣 史  
事務補佐員 小倉 みどり  
事務補佐員 孝森 めぐみ  
(2012年10月～)

### 短期留学部門

教授 野水 勉  
准教授 石川 クラウディア  
特任講師 北山 夕華  
(国際交流協力推進本部 G30)  
交換留学専任職員  
(契約職員) 亀井 千里  
(国際交流協力推進本部 G30)  
事務補佐員 澤田 美奈子

## 歴代留学生センター長

初代	馬越徹	1993年4月～1995年3月
第二代	石田真	1995年4月～1999年3月
第三代	塚越規弘	1999年4月～2001年3月
第四代	末松良一	2001年4月～2005年3月
第五代	江崎光男	2005年4月～2007年3月
第六代	石田幸男	2007年4月～2011年3月
第七代	町田健	2011年4月～

## 留学生センター全学委員会委員

## 全学委員会委員

(平成24年4月1日現在)

委 員 会 名	委 員	任期	期 間
センター協議会	センター長		職指定
研究・国際交流委員会 (基幹第7)	センター長		職指定
国際交流推進本部会議委員	センター長		職指定
国際交流委員会	センター長 衣川 隆 生 松浦 まち子 野水 勉 岩城 奈巳	2年 2年	職指定 (留学生センター) (留学生教育交流実施委員会委員長) (オブザーバ) (オブザーバ)
国際教育運営委員会	村上 京子 松浦 まち子 野水 勉 岩城 奈巳 初鹿野 阿れ 徳 弘 康代		平成24年4月1日～平成25年3月31日 (留学生教育交流実施委員会委員長) (オブザーバ) (オブザーバ) (オブザーバ, 国際交流協力推進本部) (オブザーバ, 国際交流協力推進本部)
本部学生生活委員会	松浦 まち子		国際教育運営委員会委員
ハラスメント 防止対策委員会	田中 京子	2年	平成24年4月1日～平成26年3月31日
全学計画・評価担当者会議	鹿島 央		(留学生センター)
研究助成委員会	石崎 俊子	2年	平成24年4月1日～平成26年3月31日
交換留学実施委員会	センター長 松浦 まち子 田中 京子 岩城 奈巳 野水 勉 石川クラウディア 北山 夕華 衣川 隆生		職指定 (委員長) (アドバイジング・カウンセリング部門) 〃 〃 (短期留学部門) 〃 〃 (その他) 平成19年4月～
留学生教育交流実施委員会	松浦 まち子 田所 真生子 田中 京子 岩城 奈巳 野水 勉 石川クラウディア 北山 夕華		職指定 (アドバイジング・カウンセリング部門の教授) (委員長) (アドバイジング・カウンセリング部門) 〃 〃 (短期留学部門) 〃 〃
全学教育企画委員会	村上 京子	2年	平成24年4月1日～平成26年3月31日
教養教育院統括部 言語文化科目部会	浮葉 正親	1年	平成24年4月1日～平成25年3月31日



委 員 会 名	委 員	任期	期 間
附属図書館商議委員会 (オブザーバー)	李 澤 熊	2年	平成24年4月1日～平成26年3月31日
総合保健体育科学センター 運 営 委 員 会	松 浦 まち子	2年	平成23年4月1日～平成25年3月31日
情報セキュリティ 組 織 連 絡 協 議 会	佐 藤 弘 毅		
情報メディア教育センター 言 語 教 育 専 門 委 員 会	石 崎 俊 子	2年	平成23年4月1日～平成25年3月31日
名古屋大学スペース・コ ラボレーション・シス テム事業委員会 全学 教育棟子局運営委員会	佐 藤 弘 毅	2年	平成23年4月1日～平成25年3月31日
N I C E 連 絡 会	石 崎 俊 子		平成17年4月1日～(任期なし)
国際学術コンソーシアム 推 進 室 会 議	石 崎 俊 子		平成23年4月1日～平成25年3月31日
	岩 城 奈 巳		平成23年4月1日～平成25年3月31日
災 害 対 策 室 会 議	田 中 京 子		平成24年1月1日～平成25年3月31日
全学同窓会幹事会	李 澤 熊		平成24年1月1日～平成25年3月31日
一 般 廃 棄 物 管 理 者	野 水 勉		平成14年5月8日～
奨学金等採択均等 計 算 ル ー ル WG	野 水 勉		国際交流委員会(年度更新)
学童保育所検討委員会	石川クラウドディア	2年	平成23年4月1日～平成25年3月31日
こすもす保育園 運 営 協 議 会	田 中 京 子	2年	平成24年4月1日～平成26年3月31日
キャンパスマス タ ー プ ラ ン WG	野 水 勉		平成18年4月1日～
ハラスメント防止対策担当 (相談員)	田 中 京 子	2年	平成24年4月1日～平成26年3月31日
ハラスメント相談 セ ン タ ー 運 営 委 員 会	田 中 京 子	2年	平成24年4月1日～平成26年3月31日

## 留学生センター内委員会委員

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

委員会名	下位部会・WG	メンバー
総務委員会	将来計画 WG	センター長・野水・鹿島・松浦・村上・国際学生交流課長
	執行部会（連絡会議）	センター長・各部門代表・事務
	特昇 WG	衣川・岩城
財務・施設委員会	経理・整備 WG	野水・松浦・李・佐藤
	PC 室管理運営 WG	佐藤・衣川・野水・石崎・北山・鹿島・岩城・李
	安全・防災部会	田中・鹿島・北山・石崎
計画・評価委員会	自己評価 WG	浮葉・鹿島・田中・野水・初山・佐藤
	教育活動評価 WG	村上・石崎・野水・岩城・衣川
	研究評価 WG	初山・田中・岩城・李
	年次計画・報告 WG	鹿島・野水・田中・初山
広報委員会	広報部会	浮葉・李・北山・岩城・佐藤
	ホームページ部会	石崎・野水・石川・李・岩城・佐藤・国際学生交流課長
	紀要部会	石川・松浦・衣川
	日本語・日本文化論集編集部会	初山・浮葉
教務委員会	日本語・JEMS 部会 (FD も含む)	部門メンバー
	教育交流部会	部門メンバー
	短期部会	部門メンバー
	地域連携部会	衣川・浮葉

## 平成24年度 授業担当および学位論文審査

### I. 授業担当 (大学院・学部・NUPACE)

#### 1. 大学院

##### 国際言語文化研究科

- 鹿島 央：日本語音声学 a (前期 1 コマ 2 単位)  
日本語音声学 b (後期 1 コマ 2 単位)
- 初山洋介：現代日本語学概論 a  
(前期 1 コマ 2 単位)  
現代日本語学概論 b  
(後期 1 コマ 2 単位)
- 李 澤熊：日本語文法論 a (前期 1 コマ 2 単位)  
日本語文法論 b (後期 1 コマ 2 単位)
- 村上京子：日本語教育評価論 a  
(前期 1 コマ 2 単位)  
日本語教育評価論 b  
(後期 1 コマ 2 単位)
- 衣川隆生：日本語教育方法論概説 a  
(前期 1 コマ 2 単位)  
日本語教育方法論概説 b  
(後期 1 コマ 2 単位)
- 石崎俊子：コンピューター支援日本語教育方法論 a  
(前期 1 コマ 2 単位)  
コンピューター支援日本語教育方法論 b  
(後期 1 コマ 2 単位)
- 佐藤弘毅：日本語教育工学 a (前期 1 コマ 2 単位)  
日本語教育工学 b (前期 1 コマ 2 単位)
- 田中京子：異文化コミュニケーション論 a  
(前期 1 コマ 2 単位)  
異文化コミュニケーション論 b  
(後期 1 コマ 2 単位)
- 浮葉正親：日韓比較文化論 a (前期 1 コマ 2 単位)  
日韓比較文化論 b (後期 1 コマ 2 単位)

##### 文学研究科

- 初山洋介：理論言語学 a (前期 1 コマ 2 単位)  
理論言語学 b (後期 1 コマ 2 単位)

### 2. 学部

#### 教養教育院

- 浮葉正親：  
基礎セミナー A  
「韓流ドラマから『パッチギ』まで一日韓比較文化論のすすめ」(前期 1 コマ 2 単位)
- 田中京子：  
基礎セミナー A  
「英語で学ぶ日本の文化」(前期 1 コマ 2 単位)
- 野水 勉：  
基礎セミナー A  
「留学へのとびら」(前期 1 コマ 2 単位)
- 野水 勉：  
基礎セミナー B  
「留学へのとびら」(後期 1 コマ 2 単位)
- 浮葉正親 (代表)・松浦まち子・田中京子・坂野尚美・田所真生子：  
全学教養科目  
「留学生と日本－異文化を通しての日本理解」  
(後期 1 コマ 2 単位)
- 佐藤弘毅：  
全学教養科目  
「情報リテラシー(文系)」(前期 1 コマ 2 単位)
- 村上京子：  
全学基礎科目  
「言語文化 I 日本語 1」(前期 2 コマ 3 単位)
- 村上京子：  
全学基礎科目  
「言語文化 I 日本語 2」(後期 2 コマ 3 単位)
- 浮葉正親：  
全学基礎科目  
「言語文化 II 日本語 1」(前期 1 コマ 2 単位)
- 浮葉正親：  
全学基礎科目  
「言語文化 II 日本語 2」(後期 1 コマ 2 単位)
- 岩城奈巳：  
全学基礎科目  
「特別英語セミナー 1」(前期 1 コマ 2 単位)

石川クラウディア：

開放科目

「国際社会法政-日本におけるイミグレーション」  
(前期1コマ 2単位)

野水 勉：

化学基礎1 (前期1コマ 2単位)

野水 勉：

全学教養科目

「現代世界と学生生活」(前期1回 2時間)

### 3. 名古屋大学短期交換留学プログラム (NUPACE)

野水 勉：

現代日本社会 (前期1コマ 2単位)

石川クラウディア：

国際社会法政-日本におけるイミグレーション  
(前期1コマ 2単位)

石川クラウディア：

日本地域における英語教育実践  
(前期1コマ 2単位)

石川クラウディア：

日本地域における英語教育実践  
(後期1コマ 2単位)

## II. 学位 (博士) 論文審査

○村上京子 (主査)

論文提出者：服部明子 (国際言語文化研究科)

提出論文：ビジネス場面におけるクレーム電話会  
話終結部の分析

○村上京子 (主査)

論文提出者：村田香恵 (国際言語文化研究科)

提出論文：日本留学試験「記述問題」のトピック  
に関する研究

○初山洋介 (主査)

論文提出者：梶川克哉 (国際言語文化研究科)

提出論文：複文表現の意味的カテゴリー-「目的」  
「付帯状況」をめぐって-

○初山洋介 (主査)

論文提出者：許永蘭 (国際言語文化研究科)

提出論文：現代日本語における「切断・分離」を  
表す動詞の意味分析

○鹿島 央 (副査)

論文提出者：天野修一 (国際開発研究科)

提出論文：日本人英語学習者の音声単語認知及び  
強勢付与における語強勢の典型性効果

○鹿島 央 (副査)

論文提出者：許永蘭 (国際言語文化研究科)

提出論文：現代日本語における「切断・分離」を  
表す動詞の意味分析

○鹿島 央 (副査)

論文提出者：村田香恵 (国際言語文化研究科)

提出論文：日本留学試験「記述問題」のトピック  
に関する研究

○石崎俊子 (副査)

論文提出者：服部明子 (国際言語文化研究科)

提出論文：ビジネス場面におけるクレーム電話終  
結部の分析

○李澤熊 (副査)

論文提出者：梶川克哉 (国際言語文化研究科)

提出論文：複文表現の意味的カテゴリー-「目的」  
「付帯状況」をめぐって-

○李澤熊 (副査)

論文提出者：許永蘭 (国際言語文化研究科)

提出論文：現代日本語における「切断・分離」を  
表す動詞の意味分析

○浮葉正親 (副査)

論文提出者：呉恩英 (国際言語文化研究科)

提出論文：在日朝鮮人文学における「朝鮮的なも  
の」-金石範の作品を中心に-

○浮葉正親 (副査)

論文提出者：姜信和 (国際言語文化研究科)

提出論文：尹東柱の脱神和化-トランスナショナ  
ルな視座からの再読-

○衣川隆生 (副査)

論文提出者：村田香恵 (国際言語文化研究科)

提出論文：日本留学試験「記述問題」のトピック  
に関する研究

## 留学生センター主催研究会記録

(2012年 4月～2013年 3月)

- |        |  |     |                                |
|--------|--|-----|--------------------------------|
| ◆日     | 時：2012年6月1日（金）17:00-19:00  | ◆日  | 時：2012年11月10日（土）10:00-17:00    |
| 内      | 容：アメリカ大学院留学シンポジウム  | 場   | 所：文系総合館7階カンファレンスホール            |
| 場      | 所：CALE フォーラム   | 内   | 容：第3回「IF@N：名古屋大学国際学生<br>フォーラム」 |
| 参 加    | 者：60名（全学の希望者）  | 参 加 | 者：36名（留学生，学内外学生，教員）            |
| 共      | 催：米国大学院学生会   | 共   | 催：名古屋大学国際交流協力推進本部              |
| ◆日     | 時：2012年7月14日（土）10:00-18:00   | ◆日  | 時：2013年3月29日（月）9:30-12:00      |
| 場      | 所：ベンチャービジネスラボラトリーホール   | 場   | 所：文系総合館7階カンファレンスホール            |
| 内      | 容：名古屋大学グローバル・リーダー育成<br>プログラム公開ワークショップ<br>「Personal Leadership ～異なる文化を<br>受け容れるための6つの習慣～」 | 内   | 容：海外留学シンポジウム                   |
| 講      | 師：阿部 仁<br>（一橋大学国際教育センター准教授）  | 参 加 | 者：65名（学内外の希望者）                 |
| 参 加    | 者：30名<br>（留学生，学内外学生，学内外教職員）  | 後   | 援：株式会社ディスコ                     |
| 共      | 催：名古屋大学国際交流協力推進本部  |     |                                |
| ◆日     | 時：2012年7月22日（日）13:00-16:30   |     |                                |
| 場      | 所：CALE フォーラム   |     |                                |
| 内      | 容：オープンフォーラム「社会参加として<br>の在日朝鮮人文学～磯貝治良とその文<br>学サークルの活動を通して」                                |     |                                |
| 講      | 師：磯貝治良氏<br>（作家・金城学院大学非常勤講師）<br>「わたしの文学の旅と在日文学のゆくえ」                                       |     |                                |
| コメンテータ | ：清水良典氏<br>（文芸評論家・愛知淑徳大学教授）<br>黄英 治氏（作家・評論家）  |     |                                |
| 参 加    | 者：35名（大学院生，市民）   |     |                                |
| 共      | 催：在日朝鮮人作家を読む会  |     |                                |